

いのちの花

原作

向井愛実著「いのちの花」
(株式会社WAVE出版刊)

瀧 晴己著「世界でいちばんかなしい花」
それは青森の女子高生たちがペット殺処分ゼロを目指して咲かせた花
(ギャンビット刊)

脚本

畑澤聖悟

演出

齊藤理恵子

2024.7.6 土

フェニックス・プラザ エルピス 大ホール
tel.0776-20-5060

福井市田原1丁目13-6(福井鉄道・えちぜん鉄道「田原町」駅前)



ペットの命・家畜の命・人間の命
…いのちって何だろう？



ヒナタカコ

13:30 開場

14:00 「いのちの花」開演

16:00 青森県立三本木農業恵拓高等学校生徒さんによる「命の花」進呈

16:30 ヒナタカコ ライブ

17:00 終了

主催 / 「いのちの花」実行委員会

お問合せ / inochinohana.f@gmail.com

☎ 080-3388-2273(コヅル)

入場無料

収容人数/2,000名

声を上げることもできずに死んでいった動物たちの
「命」を再生させようと立ち上がった、
5人の女子高生の真実の物語。

「いのちの授業」が今、始まる！



青森県立三本木農業恵拓高等学校「命の花プロジェクト」



第1部 「いのちの花」上演

第2部 青森県立三本木農業恵拓高等学校 「命の花」進呈

第3部 ヒナタカコ ライブ

● 「いのちの花」

「いのちの花」は、東京の劇団「銅鑼」が2017年から上演を続けている作品。青森県立三本木農業恵拓高等学校の生徒たちが展開している「命の花プロジェクト」を描く。これまで全国で200回を超えて上演しています。

● 命の花プロジェクト

平成24年(2012年)度から青森県立三本木農業恵拓高等学校の動物科学科愛玩動物研究室の生徒たちが展開している活動。青森県では、当時年間2,000頭以上の犬や猫の殺処分が行われており、その事実を知った生徒たちは殺処分された犬や猫の骨を砕き、土に混ぜ、花を育て、活動を通じて「命の尊さ」を訴えている。

● ヒナタカコ Takako Hina

福井県坂井市三国町出身。福井の豊かな自然の中で音楽家として暮らすシンガーソングライター。唱歌アルバムのリリースに加え、CMソング、校歌や市の公式テーマソング、合唱曲の提供など、活動は多岐にわたる。僧籍を持ち、お寺でもライブも。「人・命・自然」をテーマに据え、優しくも力強い歌声で多くのファンを持つ。

入場無料

収容人数
2,000名



フェニックス・プラザ tel.0776-20-5060

福井市田原1丁目13-6(福井鉄道・えちぜん鉄道「田原町」駅前)

駐車場/収容台数:403台

料金/最初30分無料 以後30分毎に100円加算

※公共交通機関をご利用ください。

※このイベントは、趣旨にご賛同された方々からの協賛金・寄付金により企画しています。